

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 156 9月号

2018年9月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)



読書と私 No.146

「そうだ！図書館へ行こう！」

龍野町 富永 葉子

私が結婚と同時にたつの市に越してきてもうすぐ9年目。すっかりたつの市の住民として馴染んでいます。

さて、たつの市に住んでみて思ったこと。人口に対して図書館が多い！！しかも駐車場付き。私の地元の図書館は駐車場が有料であったり、台数が限られていたりして不便だったのです。なんとなく図書館から遠ざかっていた私にとってうれしい現実でした。VIVA！たつの！

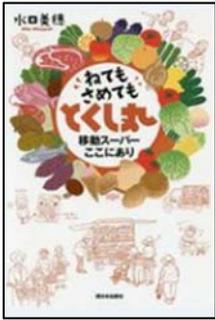
今では娘（小2）と息子（年長）を連れて図書館へ通う日々。週に2回、多ければ週に4回は通うヘビーユーザー。子ども達も勝手知ったる図書館という感じでサッサと本を物色。自分が目当ての本が見つからないときにはカウンターに行き職員の方に尋ね、無ければ予約する、という技まで獲得。夫に似たのか、私に似たのか、はたまた関西人の性か、やたらと馴れ馴れしい彼らは本のこと以外の個人的な話も職員の方に話し出す始末。先日なんて「うちのお母さん〇歳やで」と年齢までばらしてくれちゃって。嗚呼、何言ってくれてんの・・・と思いつつも子ども達の嬉しそうな顔を見たら笑うしかありません。そんな子どもの話にいつも耳を傾け、話を聞いて下さる職員の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

図書館はいわば本の宝箱。無料で好きな本が借りられるなんてこんな素晴らしいシステムを利用しない手はありません。今は電子書籍などの便利なものもありますが、私は紙ベースの本が好み。賑やかな子ども達を連れての図書館通いは、まだまだ続きそうです。



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『ねてもさめてもとくし丸 移動スーパーここにあり』 水口 美穂 著 西日本出版社



「とくし丸」とは、徳島県で買い物難民の救済、地域の高齢者の見守りのために誕生した個人事業形式の移動型スーパーである。本書は京都府に住む普通の主婦がとくし丸に出会って、開業を決意し担当エリアの人々と心を通わせていくまでを綴ったものである。

開業にあたり4000軒の家々を訪問し買物の実情を調査し、とくし丸5号車を入手した著者であったが、いざ開業してみると毎日10キロ以上歩くために全身筋肉痛になり、重い商品の積み込みなどのハードな仕事内容に疲れ果てる毎日だった。そのような中、雪山でタイヤが側溝にはまって遭難しかける、冷蔵庫の鍵を閉め忘れて商品が溶けてしまうなど様々な失敗をする度に利用客に笑い飛ばしてもらったり、

「焦らんでもええよ」と優しい言葉に励まされたりした。また、トイレに困っている著者に利用客が、「トイレを我慢したらあかん」と自宅のトイレを巡回の度に貸してくれるようになった。

利用客の好みや買い物の傾向が徐々に分かってくると、商品をピックアップしながら「あの人はこの商品喜んでくれるかな」と考えるようになり、辛かった積み込みも楽しみな時間へと変化した。また、とくし丸が巡回を始めてからというもの、これまであまり交流のなかったご近所同士の井戸端会議が頻繁になされるようになった。聞くと皆、とくし丸のテーマソングが聞こえろとついつい家から出てくる癖がついたと笑う。とくし丸は買い物だけでなく、一人で自宅にこもりがちな高齢者たちの良き社交場となったのだ。「人との繋がりを大切に」、私たち現代人が忘れがちなこの言葉の意味を真にとくし丸は教えてくれる。(新宮図書館 山崎)

トピックス

イベントのお知らせ

※申込、問い合わせは各図書館まで

新宮図書館

科学っておもしろい～イメージセンサが開く未来～

日本人初のエリザベス女王工学賞を受賞された寺西信一氏から、イメージセンサが暮らしをどう変えてくれるのかについて講演していただきます。

- 【講師】 寺西 信一 氏 (兵庫県立大学 特任教授)
- 【日時】 9月9日(日) 10時30分～12時
- 【場所】 新宮図書館 研修室
- 【対象】 一般(中学生以上)
- 【定員】 50名(先着順)
- 【申込】 新宮図書館(電話可)



新宮図書館

刺繍作品展 糸で描く自然の営み

生きものたちの営みを刺繍で表現した作品を展示します。

- 【制作者】 内田 喜枝子 氏 (たつの自然を楽しむ会)
- 【期間】 9月1日(土)～9月30日(日)
- 【場所】 新宮図書館 入口付近

制作者による作品説明会を行います。
9月15日(土) 11時～11時20分

揖保川図書館

読書講演会「絵本はここから始まった
ーヴィクトリア朝の絵本ー」

絵本の歴史を学びます。
150年前の貴重な絵本も見られます。

- 【講師】 正置 友子 氏
(青山台文庫・絵本学研究所 主宰 元聖和大学大学院教授)
- 【日時】 9月29日(土) 13時30分～16時
- 【場所】 アクアホール 3階 研修室
- 【対象】 一般
- 【定員】 40名(先着順)
- 【申込】 揖保川図書館(電話可)

図書館の特別整理日(休館)について

特別整理日は、本の点検や移動作業など開館中にできない作業をします。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

【期間】 ※新宮図書館・御津図書館は10月号にて掲載します。

揖保川図書館 9月24日(月)～10月4日(木)

龍野図書館 10月1日(月)～10月10日(水)

特別整理日の期間中の返却について

開館している図書館や返却ポストへ返してください。
ただし、DVD・CDなど壊れやすいものは図書館窓口に返してください。

『ペニーさんと動物家族』 マリー・ホール・エッツ 作 松岡 享子 訳 徳間書店



ペニーさんは、見事に育った野菜と動物たちを農業祭に出すことにしました。心の優しいペニーさんは、馬のリンピーに、年老いているので農業祭に出さないが気を悪くし

ないようにと話し、他の動物たちが入賞したら観覧車に乗ろうと言いました。観覧車のことを知ったヤギのスプロップとオンドリのドゥーディは、審査の前の晩、自分たちが入賞できるか調べようと柵を抜け出します。ところが2匹は、ニワトリの檻をくずしたり、カボチャの台を倒したりと会場で騒ぎを起こし、ペニーさんたちはおまわりさんに退場を命じられてしまいます。

一方、会場では、競馬のスタートがやり直しになり、観客たちが「はやくやれ！」

と騒ぎたてていました。競走馬になりたかったリンピーは、観衆が自分に呼びかけていると思い、「よーしきた」と、スプロップを馭者にし、ドゥーディたちと一緒にコケコッコ、コオーツコオーツ、メェーメェーと鳴きたてて飛び出して行きました。リンピーがコースを走っているのを見たペニーさんは「とまれー！」と追いかけて、他の動物家族も続きました。それを見た観衆は大笑いです。

年老いたリンピーが憧れだった競走馬のように走ることができ、それが農業祭の会長さんに気に入られて、動物たちの願いどおり観覧車に乗ることができた結末に喜びで心が満たされます。

『ペニーさん』の続編です。読んであげると6歳くらいから。

(龍野図書館 上田)

『からすが池の魔女』 E・G・スピア 文 掛川 恭子 訳 岩波書店



1687年、育ての親だった祖父を亡くした16歳のキットは、手紙でしか知らない叔母を頼り、西インド諸島のバルバドスからアメリカの田舎町へ向かう。旅の途中、キットは

幼女の落とした人形を拾おうとボートから海へ飛び込み、乗客の非難を浴びる。ここでは水に浮く女は魔女だと考えられているからだ、船長の息子ナットはキットに忠告した。

叔母と従姉妹たちはあたたかく迎え入れてくれたが、叔父は厳しかった。大農園育ちのキットは、家族の一員として認められようと初めての家事や畑仕事に励むが、戻れない島への気持ちも募っていく。町はずれの大草原だけが心の安らぐ場だった。

あるとき、失敗をして逃げ込んだ大草原で、キットは魔女と呼ばれる老女ハンナと出会い、心に悩みがあれば草原が救ってくれる、と話しかけられる。ハンナの率直さに心を動かされたキットは、密かにハンナの家を訪れるようになり、ナットにも再会する。彼はハンナが生活に困らないよう定期的に物を届け、力仕事を引き受けていた。

やがて町では原因不明の病気が流行する。人々の不安は大きくなり、ついには魔女狩りが始まる。キットは標的となったハンナを救うが、自身が捕らえられ、裁判にかけられることになる。

厳格な清教徒の町での暮らしと人々の葛藤や衝突が描かれ、信念や寛容を問いかけてくるが、結末には希望が感じられる。中学生くらいから。(揖保川図書館 横野)

9月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

8日(土)・15日(土) 11時～11時20分
『くつつあるけ』他

新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

10日(月)・16日(日)・24日(月) 11時～11時20分
『いってきまあす!』他

揖保川図書館 【対象】2～4歳児、保護者

1日(土)・8日(土)・15日(土) 10時30分～10時50分
『ぼぼんぴぼんぼん』他

御津図書館

【対象】1～4歳児、保護者

9日(日)・16日(日)
11時～11時20分
『ととけっこうよがあげた』他

【対象】5歳児～

9日(日)・16日(日)
11時30分～11時50分
『ターちゃんとペリカン』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

1日(土)・8日(土)・15日(土)・
22日(土)・29日(土)
10時15分～10時45分
「マメジカカンチルが穴に落ちる話」他

揖保川図書館

1日(土)・8日(土)・15日(土)
11時～11時30分
「かしこいモリー」他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館

14日(金)
10時～11時30分
『千羽鶴』
川端 康成 著

揖保川図書館

7日(金)
10時～12時
『銀の猫』
朝井 まかて 著

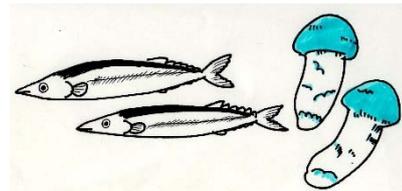
御津図書館

19日(水)
13時30分～15時30分
『日本史の内幕』
磯田 道史 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館

13日(木) 10時～11時30分
『クオレ』デ・アミーチス 作



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

“敬老の日”

高齢者の方々に、楽しんでいただける本を紹介しています。

《児童展示》

秋をみつけよう!

虫の音、紅葉、もうそこまで秋が来ています。

【期間】9月30日まで

新宮図書館

もしもの時に備えよう!

災害を避けて生きることができないなら、知識をもって災害に備えよう。地震、台風、水害、土砂災害のとき、何を留意し、どんな行動をとればいいのか、参考になる本を集めました。

【期間】9月30日まで

揖保川図書館

兵庫が舞台の本

兵庫県は今年で県政150周年を迎えました。旧五国から成る県土は広く、それぞれに特色があります。あの街が舞台になっている小説、地域の歴史を語る郷土資料など兵庫ゆかりの本を集めました。ふるさとの魅力を再発見してみませんか?

【期間】9月23日まで

御津図書館

元気に長生き

人生を楽しむためには心身ともに健康であることが、何より大切です。熟年の魅力と共に元気に若々しく年を重ねるために、役立つ本を紹介します。

【期間】9月26日まで